循環型社会形成推進基本計画の概要

現状と課題

現状: 非持続的な20世紀型の活動様式

課題:天然資源の消費の抑制と環境負荷の低減のため、循環を基調

とする社会経済システムの実現・廃棄物問題の解決

循環型社会のイメージ

暮らし:良いものを大事に使う「スロー」なライフスタイル

ものづくり:環境保全志向のものづくり・サービスの提供

廃棄物:廃棄物等の適正な循環的利用・処分システムなど

数値目標:2000~2010 年度

1 物質フロー(マテリアル・フロー)目標

①「入口」: 資源生産性 平成 22 年度:約39万円/トン(平成 12 年度から概ね 4 割向上)

*資源生産性=GDP/天然資源等投入量:如何により少ない資源で、より大きな豊かさを得るかを表す値

②「循環」: 循環利用率 平成 22 年度: 約14%(平成12年度から概ね4割向上)

③「出口」: 最終処分量 平成 22 年度:約28 百万トン(平成 12 年度から概ね半減)

2 取組目標

1人1日あたりごみ排出量の20%削減、循環型社会ビジネスの市場・雇用規模の倍増等

各主体の取組

国:各主体とのパートナーシップの育成、率先した循環型社会形成への取組

国民:ライフスタイルの見直し等

事業者: EPR に基づく適正な 3R・処分等

NPO·NGO:循環型社会形成への活動等

地方公共団体:法施行・コーディネーター